

# 自己改革

食・農・くらしの応援団

JA 越後おぢや

## JA自己改革の着実な実践に向けて

現在、JA越後おぢやを含むJAグループは、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」を基本目標とした自己改革に取り組んでいます。今号では、当JAの具体的な実践をいくつかご紹介いたします。

### 園芸生産強化へ 農家の支援に注力

JA自己改革の実践の一つとして、生産者支援の強化に取り組んでいます。

園芸生産の拡大に向けた支援では、メロンやスイカ、カリフラワー、ニンジンなど、園芸生産へ新規に取り

組む生産者や、継続的な作付けで面積を拡大する生産者にさまざまな助成を行っています。いずれも、JAへ出荷する生産者が対象です。

新規生産者や作付面積拡大者には、面積に応じた助成などを行っています。新規生産者には、養液土耕栽

培システムを1年間無償で貸し出す取り組みも行って

います。  
生産コスト低減への取り組みでは、主要肥料の特別価格での供給や、段ボール・被覆資材などに対して取引に応じた奨励を行っています。

新規生産者の確保に向けて、行政などと連携し、本格的な園芸栽培や品目の拡大を検討する生産者を対象に圃場見学会も開いています。

園芸生産に興味を持った生産者が、先輩生産者らのハウスなどを巡って作物の特性や栽培方法、収穫時期、管理・収穫までの一連の流

れを知るきっかけとなっています。

JAは昨年、管内10力所に実証圃を設置し、先輩の声を直接聞ける場を提供しました。

### シルバーカー・歩行器寄贈 地域への貢献で

JA自己改革の一つである「地域への貢献」の具体的な取り組みとして、JA新潟厚生連小千谷総合病院にシルバーカー10台、同厚生連介護老人保健施設「水仙の家」に歩行器4台を贈りました。小千谷市へのLED防犯灯の寄贈に続くものです。

18日に小千谷総合病院で

行われた寄贈式で、JAの谷口熊一組合長は「高齢化社会を迎え、地域の福祉・医療に少しでも貢献できればと思っている。有効に活用していただきたい」と述べ、同病院の高橋達病院長と同施設の星野徹也施設長に目録を手渡しました。

高橋病院長からは「病院は高齢の利用者が多く、シルバーカーを使う機会が沢山ある。寄贈を大変うれしく思う」、また星野施設長からは「頂いた歩行器は、リハビリなどで十分に活用していきたい」とそれぞれ感謝の言葉をいただきました。



▲高橋病院院長④と星野施設長④に目録を贈る谷口組合長



▲圃場見学会で栽培管理の説明を聞く参加者



▲地域の担い手を訪問し、徹底した話し合いをする常勤理事

## 改革加速に担い手の声 常勤理事が訪問

J A 自己改革の実践を加速するため、常勤理事（谷口熊一組合長・小宮博行常務・藤島睦常務）が、地域の担い手を中心に訪問し、徹底した話し合いをする活動を展開しています。

担い手への訪問は12月中旬から始まっており、約60戸を予定しています。訪問活動では、谷口組合長ら常勤理事が「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」に向けたJ A の自己改革を説明するとともに自己改革工程表に基づいて、取り組みや進捗状況、成果などを説明し、J A への要望や意見などを聞き取り今後の事業に反映させる考えです。

谷口組合長は「農協改革集中推進期間の期限が平成31年5月、改正農協法5年後検討条項の期限が平成33年4月と迫っており、全国のJ A で自己改革に取り組

んでいる。当J A では、地区別座談会や各生産部会等、様々な機会を通じてご要望やご意見を伺ってきたが、今回、自己改革をより一層加速するため、改めて地域の担い手の方々に自己改革の趣旨並びに当J A の取り組みを説明させていただいた。厳しいご意見の反面、J A に対する期待のご意見もいただいた。できるものはすぐに実行し、組合員の「ニーズに応えること」「為になること」を念頭に自己改革Ⅱ自らの改革に取り組んでいきたい」と力を込めます。

## J A グループ新潟「自己改革、統一ロゴ」が完成

J A グループ新潟では、「自己改革」の展開にあたり、自己改革に関する情報共有と認知度を高めるため、統一ロゴを設定しました。広報誌や資料等に統一的に表示・掲載し、「見える化」を進め、情報発信を強化していきます。J A グループ一体となって「自己改革」に取り組んでいきます。

### 「ロゴのコンセプト」

左肩の赤いマルは、自己改革の先にある「希望」「光」をイメージ、四角形は、米どころ新潟の「田」をイメージしています。

